

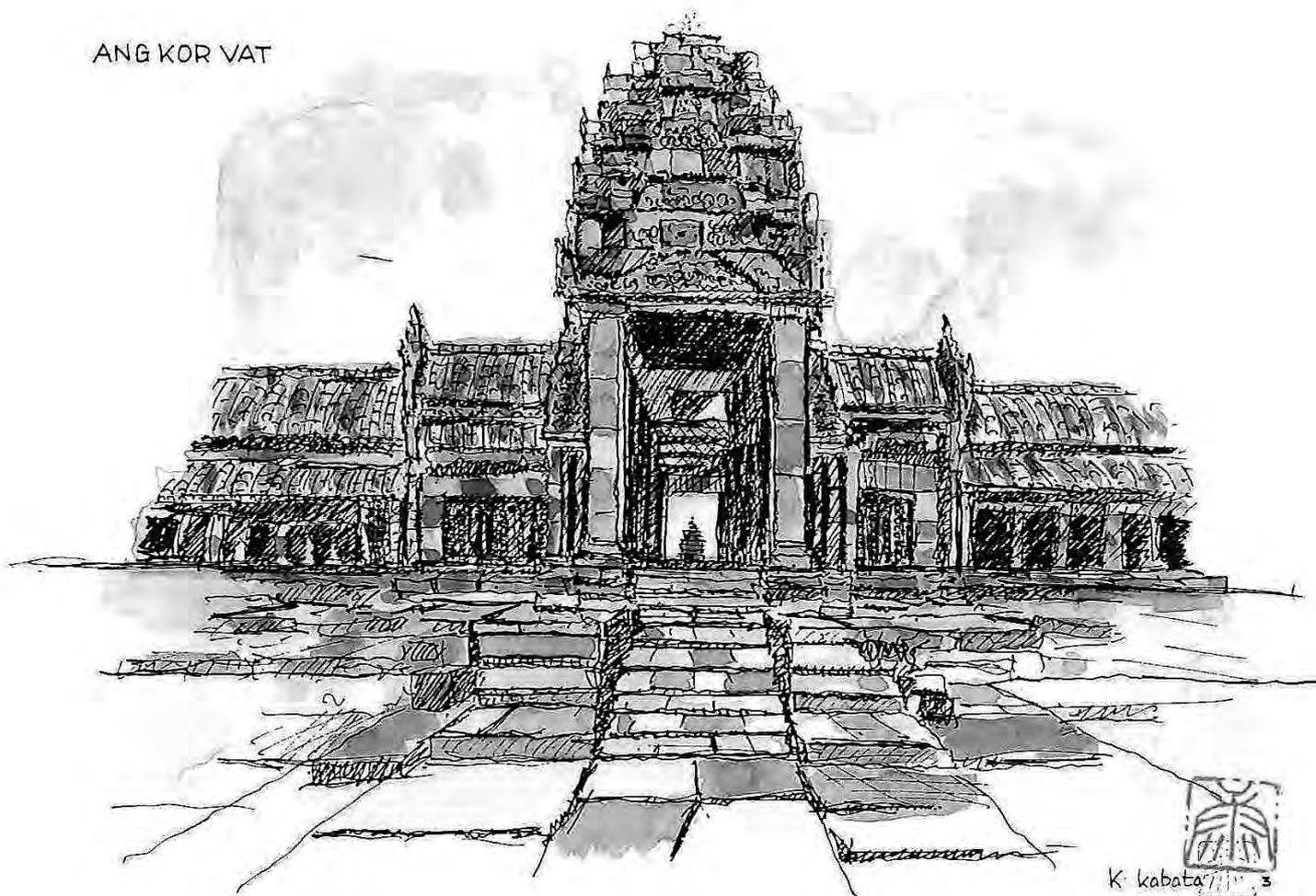
建築士

おおた

秋季号

2010 NO 109

ANG KOR VAT



社団法人 大分県建築士会

CONTENTS

1. 新役員挨拶	副会長 末成 祐二 副会長 幸 勝美
2. 平成21年度地域貢献センターまちづくり 活動基金助成事業報告	臼杵支部 高橋 利治 玖珠支部 尾方 秀則 三重支部 高野 幸雄 中津支部 中尾 忠廣
10. 連載 鮎美ママのハッピーエッセイ	<大分支部> 高山 鮎美
12. 女性部会のPage	<女性部会 大分支部> 仲道 美紀
14. 建築士の集い 福岡大会参加報告	大分支部 伊藤 憲吾 日田支部 小笠原龍司
18. インフォメーション (支部便り)	
~ 大分支部 ~	大村 武司
~ 別府支部 ~	工藤 圭介
20. 会員紹介	<玖珠支部> 瀧石 雅一 <大分支部> 御幡 結 <中津支部> 近藤 久晴 <佐伯支部> 藤田 康弘
22. My Work	<高田支部> 清末 幸生 <宇佐支部> 奥田 和彦 <別府支部> 衛藤 三使
24. My Best Book	<大分支部> 岐部 和久 <臼杵支部> 三重野元良 <玖珠支部> 白地 泰憲
26. おおいた建物発掘隊 - 佐伯市編 -	<佐伯支部> 長田 孝治
27. ぐるめ探訪	<別府支部> 須藤 祐未 <日田支部> 櫻木弘三郎
28. 行政だより 国勢調査へのご協力依頼 構造設計者を対象とした講習会開催のお知らせ	大分県企画振興部 建築構造技術センター
30. 平成22年度 通常総会報告	事務局
32. 事務局だより	大分県建築士会事務局

■ 表紙画説明 ■

表紙は、宇佐支部 椀田康一さんのアンコールワットを訪れた際のスケッチです。

次回、新年号より、文：宇佐支部 渡辺賢一さん、挿絵：宇佐支部 椀田康一さんのコンビで旅寄稿を掲載予定です。

どうぞお楽しみに！

新役員挨拶

Ⅰ 副会長就任の挨拶

大分支部 未成 祐二

大分県建築士会の会員数は、急速に減少しています。平成12年度からの10年間に約600人が退会し、1,950人から1,351人になりました。建設投資額の減少による建築業界の縮小が背景だと考えられますが、会費を収入の柱とし、運営の基礎は会員の共益的事業である建築士会の現状は、人口減少が進みコミュニティーを維持できない小規模集落の危機に似ています。

しかし、憂慮することだけではありません。平成21年度には71名の入会者がありました。また、私は、今春、大分大学で教える機会がありましたが、私の想像を超える多くの学生が建築を学んでいました。日本に先んじて社会基盤を整備し、良質な建築ストックを蓄積したヨーロッパで、建築業がすたれてはいるのですから、国内の建築業界の将来は、決して悲観するものではないと考えています。

しかし、建築士会の予算は、会員数の減少により、積立金を取り崩し収入を補てんする状況にあります。会の進路を決する時期に在るのは明らかです。この局面で、新公益法人制度への対応は、タイムリーで重要な課題です。平成23年の総会で、共益的組織としての一般社団、あるいは公益事業を担う公益社団のいずれかを選択し決定できるように、総務担当の副会長として、情報を提供し、全ての会員が会のあり方について意見交換できる環境づくりに取り組みます。

私の建築士会との関わりは、30余年前の一級建築士受験に際し、勤務先のあった奈良県の建築士会の講習会に世話になって以来、帰分後は、大分県建築士会で実務知識を学び、社会貢献活動の充実感に浸り、それらを通して職場を越えた知己を得てきました。建築士会の素晴らしい魅力を、入会していない建築士に伝える活動も推進したいと考えています。

Ⅰ 副会長就任の挨拶

別府支部 幸 勝美

今年度より副会長を引き受ける事となりました別府支部の幸です。皆さん宜しく願いいたします。

建築士会に入会して30年余り過ぎ、その間別府支部の活動や県本部の事業を通じ多くの友人を得ることが出来ました。現在の私にとってかけがえない財産となっています。今回副会長の大役を拝命するにあたり建築士会のすばらしさを一人でも多くの方にお伝えし、一人でも多くの仲間を増やしたいと思っております。

また今回調査研究委員会の担当副会長と建築構造技術センター特別委員会委員長の職を任命され、不肖な私が十分に職責を果たせるか不安もありますが、会員皆様方の協力をいただきながら精一杯努力して行きたいと思っております。

さて、調査研究委員会では、2010年度より3年間の継続事業で「歴史的建造物の保全・活用の促進による地域の活性化事業」に取り組むこととなり、その活動を通して県下各地域で建築士会の存在をPRする一助になればと思っております。

また建築構造技術センターに於いては、長引く景気低迷の中で、厳しい運営が予想されますが技術センター関係者皆様の努力と会員皆様方のご理解とご協力をいただきながら、より良い方向に進んで行ければと思っております。

最後になりましたが会員皆様方のご健勝と益々のご活躍をご祈念申し上げ副会長就任の挨拶とさせていただきます。

● 地域貢献活動事例報告書 ●

活動団体名	(社)大分県建築士会臼杵支部 うすき南蛮文化学習会「コント・ソソデ」	事業名	臼杵城大手門周辺百年計画
<p>■ 活動の概要</p> <p>臼杵のシンボルである臼杵城址の袂、江戸時代の大手門周辺地域が街路事業に伴う立ち退きなどの影響で空地が目立つ状況となっている。空地は公共用地や民間所有地が入り乱れ、このまま放置すればまとまりの無い開発が行われる危険がある。同時に、中心部エリアにおいてまちづくりの核を作るチャンスと捕らえている。</p> <p>地域に根ざす建築士として、将来ビジョンを描き、その姿を市民や行政にビジュアルに示すことにより、まちづくりの方向を示したい。それにより用地の買収、換地などを含めた総合的な取り組みを促したい。</p>			
<p>■ 活動組織の概要</p> <p>うすきの「歴史・文化遺産の継承と地域の活性化」に取り組む</p> <p>①臼杵の宗麟時代の痕跡を探索するとともに、その時代の活発な西洋との交流の状況に関する調査研究を行なう。</p> <p>②この調査成果を多くの市民に周知してもらい、そうして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的町並みに対する愛着と保護意識を高めたい ・歴史的町並みを生かしたまちづくりに対する意識を持ってもらう。 		<p>■ 他の団体・専門家との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臼杵の歴史景観を守る会 ・大分県立芸術文化短期大学晴谷研究室 	<p>■ 建築士の関わり</p> <p>建築士主導で活動している。</p>
<p>■ 活動のきっかけ</p> <p>1999年発足 臼杵支部青年部が臼杵市国際交流員(オランダ人)と日蘭学習会を始める。</p> <p>2002年 臼津関地方振興局の臼津関地区地域づくり交流倶楽部員に。</p> <p>2003年 南蛮文化学習セミナーを開催(一般市民対象に)</p> <p>2003年 「うすき南蛮MAP」の作成に取り組む。</p> <p>2004年 大分県建築士会青年部の代表として九州ブロック研究集会で、コント・ソソデの活動事例発表</p> <p>2005年 うすき南蛮MAP完成。芸術文化振興基金より助成を受け市民対象にシンポジウムの開催</p> <p>2006年 大手門筋にある旧臼杵藩城主稲葉家下屋敷の現況劣化調査(臼杵支部と共同で)</p> <p>2007年 南蛮MAP動画編(DVD版)作成(九州ブロック大分大会で紹介)</p> <p>2008年 大手門周辺百年計画の模型製作(初年度)に取りかかる。</p> <p>これらの活動履歴が積み重なり、今回は、昨年度に引き続き模型による大手門周辺の百年計画に取り組む。</p>			
<p>■ 活動の内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手門周辺地区の将来ビジョン策定とそれに基づく立体模型作成(昨年度に引き続き実施) ・臼杵市長と、大手門周辺の計画について懇談会実施(市長との“くるま座トーク”) ・うすき桜祭りにて、城趾の櫓を利用し、市民対象に百年計画模型の展示・関連イベントを行った。 <p>■ 今後の課題・今後の計画</p> <p>桜祭りでの一般公開において、立体感のある模型が、図面や書面などよりいかに市民の目を引き関心を持って貰えるかということがわかった。</p> <p>これからも引き続き多くの関係者の理解を深めることができるようにしたい。</p> <p>今年度は、市長へ、この計画の趣旨・内容をアピールが出来たことも、大きな収穫であった。</p> <p>そして、会員皆の身体と頭脳が続けば、大手門周辺のみならず臼杵城址全体、城下全体の計画と模型製作へと広げたい。</p>			
報告書作成者	所属 うすき南蛮文化学習会「コント・ソソデ」	氏名 高橋 利治	
連絡先	TEL 0972-62-4213	FAX 0972-62-4708	E-mail tak18@trust.ocn.ne.jp



臼杵市長との「まちづくり」くるま座トーク（大手門周辺に的をしぼった懇談会）

大手門周辺の将来計画について
語りました。



参加者一同。



「うすき桜祭り」にて 三つの櫓を開放し、模型の展示・および櫓間でスタンプラリー

花も満開で多くの人出でした。



大手門周辺についてアンケートも
実施しました。



当日は、臼杵城跡で初めて櫓（三つの）の開放をしました。（臼杵支部が復元設計し竣工して10年の歳月が流れました。）初ものの影響もあり大変多くの方々（千人超）に櫓の中へ入っていただけました。



● 地域貢献活動事例報告書 ●

活動団体名	玖珠地域に残る茅葺風景保存会	事業名	玖珠地域に残る茅葺住宅の調査研究
<p>■ 活動の概要</p> <p>玖珠地域に残る茅葺住宅の調査研究、調査資料作成</p>			
<p>■ 活動組織の概要</p> <p>大分県建築士会玖珠支部(会員22名) 建築士事務所協会玖珠支部</p>		<p>■ 他の団体・専門家との連携</p> <p>建築士事務所協会玖珠支部会員、その他興味を持つ個人</p>	<p>■ 建築士の関わり</p> <p>建築士会玖珠支部会員による調査、資料作成</p>
<p>■ 活動のきっかけ</p> <p>玖珠地域には100年を超える茅葺の民家が残っている。地域にどのくらいの数残っているかははっきりしない、そこで今回地域全体での実数を把握、又各戸の詳細調査をし、地域住民に先人の知恵、風土を理解し地域に対する誇りを持ってもらいたかった。</p>			
<p>■ 活動の内容と成果</p> <p>昨年度は建築士会員と協力者により調査人員を7グループに分担し、各班で茅葺民家の全域調査をし、751件の履歴写真、全体分布図を作成した。</p> <p>今年度は、各班、各地域から25軒を抜粋し詳細調査(間取り図、配置図、履歴、アンケート調査)をし、更に分布図に詳細調査した民家を明示した。成果としては、まず支部会員の連帯感を得ることが出来た。又新聞等で私たちの活動を紹介してもらい建築士会のアピールにもなったと思う。</p> <p>■ 今後の課題</p> <p>調査して感じたことは、茅葺や杉皮等の材料の確保の困難さや茅葺職人の不足を感じた。私たちは職人さんの所在等の情報提供をすることや、地域の風土、歴史を一般住民に広く伝えていく事が大事だと感じた。</p> <p>■ 今後の計画</p> <p>751軒の建物履歴と分布図、詳細調査書やアンケート結果を地域活性化に生かしていく必要がある。</p> <p>一般住民が地域のすばらしさに誇りをもてるように、一定地域(モデル地域)を選定しCG映像等で一般住民に解りやすい資料作成をし地域の景観や、風土歴史のすばらしさを伝えなければいけないと思う。</p>			
報告書作成者	所属 大分県建築士会 玖珠支部(実行委員長)		氏名 尾方 秀 則
連絡先	TEL 0973-72-2662	FAX 0973-72-2661	E-mail ga-ogata@alpha.ocn.ne.jp



調査対象家屋 1



調査対象家屋 2



調査対象家屋 3



調査対象家屋 4

● 地域貢献活動事例報告書 ●

活動団体名	(社)大分県建築士会三重支部	事業名	伝統工法伝承の基となる技術者・職人の調査、記録事業
<p>■ 活動の概要</p> <p>豊後大野市内全域(合併前7ヶ町村)の建築関連技術者、職人の伝統工法や後継者など技術の伝承状況の調査を含む名簿の記録作業、不況打破の取り組みとして、建築関連業者一覧を作成し市内各戸に地元業者の紹介を進め地域の活性化を計る作成資料を活用した研修会など建築士の連体と育成を進める。</p>			
<p>■ 活動組織の概要</p> <p>建築士会三重支部全体での取組み</p>		<p>■ 他の団体・専門家との連携</p> <p>豊後大野市技能師会 建設協会 設備組合</p>	<p>■ 建築士の関わり</p> <p>建築士主導で活動</p>
<p>■ 活動のきっかけ</p> <p>合併による行政単位の変更などによる業者情報の不足 経済不況による建築関連技術者の激減 行政変革に伴う経済対策など行政及び市民の建築士会への期待</p>			
<p>■ 活動の内容と成果</p> <p>豊後大野市内の建築関連業者及び技術者、伝統工法や後継者状況の把握、名簿など記録資料作成。 業者一覧配布による、市内の住宅建設やリフォーム予定者に地元業者のアピール。 建築士会の活動アピール及び会員相互の親睦、支部の活性化。</p> <p>■ 今後の課題</p> <p>高齢化が進む技術者、職人による後継者育成への建築士会としての協力体制および情報交換記録情報の継続的な有効活用及び体制づくり</p> <p>■ 今後の計画</p> <p>建築関連業者、技術者との協力体制の推進 伝統工法の研修及び積極的活用</p>			
報告書作成者	所属 建築士会三重支部 副支部長		氏名 高野 幸雄
連絡先	TEL 0974-22-6048	FAX 0974-22-8480	E-mail y_takano@fine.ocn.ne.jp

各家に配布した成果物（困った時、相談したい時は、関係業者さんを見つかりますよ。）

豊後大野市 建築関連業者

日杵市野津町

主に、図取り、図取の大きさ、建物の形を、予算に合わせ設計します。必要な申請の代行や監理業務を行います。

小さな建物の新築・増築等、建物の設計・施工をします。なんでもご連携を

お家の大切な住まいを「安心・信頼」の地元業者にお任せ下さい。

水廻り器具さん、主に水廻り具・器具の製作など、ガラス巾着の取り替え、アルミサッシなども扱います。

タタミ屋さん、タタミの製作や張り替えなど、タタミの心もならお任せ下さい。

電気・水廻り、電気工事、水道工事、ガス工事、エアコン、設備器具の取り付け、お任せ下さい。

会社名	住所	TEL
アイエム建設	大野市野津町	0974-22-1848
大野建設	大野市野津町	0974-22-1848
...

会社名	住所	TEL
大野建設	大野市野津町	0974-22-1848
...

会社名	住所	TEL
大野建設	大野市野津町	0974-22-1848
...

写真さん、瓦の葺替え、雨漏りの補修、その他の屋根工事ならお任せ下さい。

左官屋さん、床・壁のモルタル塗り、シタコ塗り、タイル貼り、それらの補修、土瓦の補修、外壁吹付けなどをします。

金物・建材屋さん、建築用の材料やバルコニー、カーポート、窓サッシなど、アルミ製の、流し台やユニットバスなどを扱っています。

建築解体・処理をします。

区分け作業



最終稿
チェック



● 地域貢献活動事例報告書 ●

活動団体名	豊の森とすまいを結ぶネットワーク 代表者 井掘 仁智	事業名	「ふるさと中津の“未来の木の家” まちづくり」プロジェクト
<p>■ 活動の概要</p> <p>森林破壊などの環境問題や大工技能の伝承といった問題とまちづくりは無縁なものではありません。本来家というものは地元の自然材料を使い、地元の職人さんが造るものだったからです。だから、街並みは統一感がありました。そんな忘れかけている大切な事を少しでも思い出してほしいと思いました。</p>			
<p>■ 活動組織の概要</p> <p>組織構成人数6名(士会会員4名) 林業家や製材所、設計事務所、地域工務店で構成され、地域材を使った家づくりをしている。</p>		<p>■ 他の団体・専門家との連携</p> <p>ありんこクラブ 洞門キャンプ場 地球温暖化防止協議会 地元婦人会</p>	<p>■ 建築士の関わり</p> <p>活動組織の過半数が士会会員であり、支部の有志にも参加してもらった。</p>
<p>■ 活動のきっかけ</p> <p>地域材を使った家づくり活動をしていく中で、新興住宅地などの新材を使った家並みを見て違和感を抱くようになった。まだまだ、消費者の感覚の中には、まちづくりや街並みと言った意識はうすいように感じた。未来ある子供たちとその保護者を対象に、環境問題の観点や職人(大工や左官)の技術の大切さを認識してもらうプログラムを作り、長い目での地域材を使った、子供たちが誇りに思えるような魅力あるまちづくりの啓蒙活動が必要だと思った。</p>			
<p>■ 活動の内容と成果</p> <p>職人さんと一緒に伝統工法の軸組みや、自然素材である土壁で構成した壁を子供たちや保護者と一緒に作り、実際に森林に行くことで自然の大切さや自分の手で作る事の面白さ、職人さんの技術のすごさを十分伝えられたと思う。また、食育や地産地消の観点から森林見学会の時に地元の婦人会の人たちとこんにゃくの作り方を教わった。少し遠回りではあるが、今回参加してくれた親子が、職人による地域材を使った自然素材の家を意識するようになってくれたと思う。</p>			
<p>■ 今後の課題</p> <p>事業の成功はいかに、参加者を集めるかがカギで、今回の事業で知り合った他団体とのネットワークをさらに深めて、より多くの人たちに地域材を使った魅力ある家づくりの大切さを意識してもらうために、継続的な取り組みを続けていくことが大切である。</p>			
<p>■ 今後の計画</p> <p>年2回 他団体との共同事業というかたちで、森林見学会や木の家づくり勉強会、大工体験などを実施して行きたい。</p>			
報告書作成者	所属 大分県建築士会 中津支部		氏名 中尾 忠廣
連絡先	TEL 0979-22-6006	FAX 0979-22-6006	E-mail hiroarch@mx6.tiki.ne.jp

左官さんと遊ぼう

2009年
10月25日(日)



森林見学会

2009年
11月29日(日)



大工さんと遊ぼう

2010年
8月1日(日)

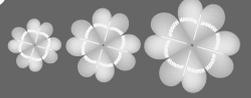




鮎美ママのハッピーエッセイ

★第4回★

大支部 高山 鮎美



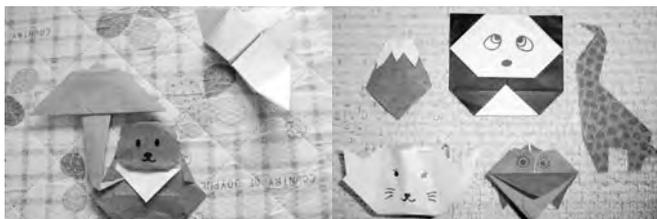
皆様こんにちは。実はこのコーナー、思っていた以上に多くの方にご覧頂いている事を知り、こんなに自由気ままに書いていいのか・・・とったりもするのですが、飾らず、粹にとらわれず、私らしく書き進め、皆さんに「クスッ」と笑って頂けるようなコーナーにしていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致しますm_m

まず始めに、前号で勝手に売買宣伝させて頂いた主人のバイクですが、乗ってくれる人が見つかりました。かなり愛着があったようで、引き渡した後、主人が、「娘が嫁に行く時ってこんな感じなのかな？」と、似合わない事を口にしていました(笑)。先が思いやられますね(苦笑)。



娘達かというと、そんな事露知らず、4歳半の倅音と1歳9ヶ月の心音は、毎日無邪気にすくすくと成長しております♪倅音は、口癖のように「これなあに？あれなあに？」「これしたい、あれ作ってえ」と質問攻め・要求攻めの毎日で、真似っ子心音がそれに輪をかけて迫ってきます(苦笑)。そして、エスカレートする要求に応えるべく、時間を見つけては、色々な工作や絵本を作ったり、私なりに試行錯誤しつつ相手をしています。

倅音のお気に入りには、相変わらず『折り紙』で、色々折らされて・・・いや、折らせて頂いています(笑)。しかし、すぐに心音怪獣にグシャグシャにされるので悲しくなります(泣)。



右の紙飛行機は倅音作で、広告等を見つけては、折っています。これが、意外と上手でよく飛ぶんです！



心音は、DVD等のディスクに興味津々で、保存に失敗した物を渡した所、こんな姿になってしまいました(苦笑)。



こんな構造なのですね・・・。このままではいけないと思い、絵を描いて渡したら大喜びで、構造の分解をやめてくれました(苦笑)。あんまり嬉しそうなので、厚紙にキャラクターの絵を描いてケースに入れてあげた所・・・毎日せっせと出したり入れたりしています。要望に応じて、増量中です。



裏には平仮名や片仮名で名前や歌詞を書いているので、倅音は、それを読んだり歌ったりしています。また、お面みたいにして、「アーンパーンチ」「ぼくドラえもんです」と、遊んだりしています。他にも、面白い行動・寝姿で笑わせてくれます(笑)。漫才を見ているかの様な、予想外だらけの毎日。子供って面白いですね^^。



高山家のお出かけ日記

先日、以前から行ってみたいと思っていた、豊後高田のトリックアートミュージアムに行ってきました。しかし、入った瞬間から倅音が泣き出し、終始抱っこちゃん(笑)。独特の雰囲気やちょっと怖い感じの絵に耐えられなかったのでしょうか。心音はというと、全く物怖じせず、興味津々。不思議そうに絵に触ったりして楽しんでいました。この展開・・・想像してはいましたが、二人の反応が極端すぎて笑えました。



お盆には、今年2月にオープンした日本一の長さを誇る足湯「ほっとふっと105」に行ってきました。場所は長崎県雲仙市小浜のマリンパーク。小浜の源泉温度は105℃と熱量日本一で、その温度にちなんで105mの足湯が作られたそうです。座って利用できる足湯30m、ウォーキング足湯60m、ペット専用の足湯もあり、温泉熱を使った蒸し釜で蒸し料理体験ができるようにもなっていました。泉質も良く、すべすべして気持ちよかったです。真夏の快晴とあって、日差しが強く暑く、足湯で体も熱く、2～3分が限度でした。やっぱり、足湯は寒い時期がいいですね(苦笑)。



今回の旅は、足湯以外は無計画だった為(苦笑)、足湯の後には、子供達のお昼寝ついでに車を走らせ、なんとなく佐世保に向かいました。佐世保ではまず、走行中に気になった佐世保港フェリーターミナルに立ち寄りしました。気になったのは、『新みなとターミ

ナル』という建物で、一部が屋上緑化されており、その下は駐車場。そこに車を止め、「自宅の屋上がこんな感じだったらなぁ♪」と夢見つつ、散歩がてら見学しました。



その後、九十九島の自然がテーマという「西海パールリゾート」に立ち寄り、朱印船や遊覧船、海賊船等を見て子供達は大はしゃぎ。私が気に入ったのは、テーマパークとは関係ないですが、巨大な椅子の展示空間でした。使用出来ないのが残念でしたが、こういうの好きです。大きさが伝わるいいのですが・・・。



九十九島と夕日を望める展望台にも行ったのですが、曇り空。少しだけ夕日を見れましたが、いつかリベンジしたいです。



高山家が選ぶ珍百景！

佐賀県で通りかかった薬局に、珍客？を見かけました！店内にも何体かいて、ライトサーベルは蛍光灯・・・と面白い！珍百景に投稿したくなりました(笑)。



女性部会のPage^{ページ}

平成22年度 全国女性建築士連絡協議会(東京大会)報告

テーマ 『女性建築士の新たなる出発』

開催日時 平成22年7月16日(金) 13:00~18:00
7月17日(土) 9:00~13:00

場所 建築会館ホール

大分支部 仲道 美紀

今年は、21回目ということで、今までの20年の歩みを振り返りながらの大会でした。



基調講演は、「女性とまちづくり」と題して、京都府立大学准教授 宗田氏のお話でした。京都の街を美しく創造的な街にしたいとの思いから、全国のまちづくりについて調査研究されていて、女性化する街は活気あるまちづくりに成功しているとのことでした。ご自身は、ライフワークバランスの大切さを実感し、今2度目の家庭生活を楽しんでおられるとか。ふと、1日の大半を仕事に費やしている自分の生活を振り返り、反省。

次のパネルディスカッションでは、歴代委員長をパネリストに迎え、「これからの女性建築士の目指す道」をテーマに話し合われました。初代委員長は、建築の世界に女性が入ることなど考えられなかった時代を経てきて、今や女性の目線がいかに大切になってきたかを強調されていました。パネリストとして参加されていた男性おふたりは、コーディネーターからの「これからの男性はどうあるべきか」との問いに「俺も族として女性についていく！」とのお答え。まだまだ男性社会であるこの業界において、臆することなく女性の視点から意見を発信していかなければ！と思いました。

次の日の分科会で私は、G分科会の「高齢化社会と少子化社会」に参加しました。議題についても去ることながら、ほとんどの県が抱えている委員会参加者の少なさ、講演会への動員不足などの問題にも活発な意見が出されました。予算0の大阪のみなさんは、

冊子や講演会など試行錯誤を繰り返しながら費用を生み出し、高齢者の方々の力になる活動をされているとのことでした。また、石川のみなさんは、徹底した子供目線による調査により、まずは公共施設の改善をし、そうすることで観光に一役買っておられるとのことでした。熱心な研究発表で時間が足りないほどでした。



ところで、皆さん、東京に行かれて田町を訪れるという方はあまりいないのではないのでしょうか。建築会館のある田町は、オフィスも大学もあるところです。宿を田町にとった私たちは、夜の街もレポートしました。



大通りの向こうに、東京タワーが大きく見え、黄昏の街はちょっとだけニューヨークのようでした。会館の裏口から出るとそこは飲み屋街。疲れたと言いながら、どの店がいいかウロウロして一軒の店へ。そこでも、女性パワーが炸裂していました。

来年は、京都での開催です。みなさん是非参加されてみては？きっと、得るものがあると思いますよ。

今回の全建女では、女性部会の活動をポスターにして展示するコーナーが設けられていました。展示したものを、次のページに掲載させていただきます。

大分県建築士会 女性部会

会員数70名 1997年設立

大分県のスギの生産量は全国第2位で、この豊富な資源をもとに、県内でスギが生産されています。県産材の需要拡大のために生まれたのが大分方式乾燥材。

大分方式 乾燥材の特徴

- (1)表面割れが少ない(2mm以下)
- (2)内部割れがほとんどない。
- (3)含水率が20%以下。
(マイクロ波含水率計により、全製品を内部まで計測)
- (4)木材が本来持っている色・つやが残っている。
- (5)木材が本来持っている香りが残っている。
- (6)通常の人工乾燥材にくらべ、
石油の消費量が少ないので環境に優しい。

大分方式乾燥材の生産工程



①人工乾燥機に通常で1週間程度入れるところ、3日以下で出します。このため木が本来持つ色や香りなどが比較的残ります。



②3~6ヶ月間、天然乾燥します。太陽の熱と風で、ゆっくりと含水率を下げます。



③内部割れがほとんどなく、表面割れが少ない、高品質な乾燥材「大分方式乾燥材」ができます。

この大分方式乾燥材をもっと知ってもらおうと、大分県建築士会女性部会では県産材木造住宅建設支援事業として平成18年より【県産材を使って木の家づくり】をテーマに女性建築士による住宅セミナーを行ってきました。

①見学会

- ・製材所見学(大分方式乾燥木材の生産工程)
- ・木造住宅施工現場見学



②木造住宅講演会

- ・「木の住まいの育て方、付き合い方」



③木造住宅講演会

- ・「健康で長生き出来る木造住宅」



18年度

①見学会

- ・製材所見学
- ・県産木材補助金制度を利用した物件
木造住宅施工現場見学



②木造住宅講演会

- ・「自然住宅、健康住宅」



③見学会

- ・女性建築士による設計物件
- ・上棟式を終えたばかりの現場見学
- ・女性棟梁の話聞きながら見学



④木造住宅講演会

- ・「やさしさの家づくり」
女性棟梁による講演



19年度

①木造住宅講演会

- ・「木の家づくりと子育て」
- ・ワークショップ



②見学会

- ・県産材を使った在来木造住宅の完成内覧会
- ・構造見学会



③木造住宅講演会

- ・「木の家づくりと子育て」
- ・ワークショップ



20年度

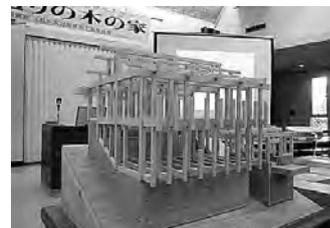
①見学会

- ・大分方式乾燥材の製材所見学(佐伯広域森林組合)
- ・木造住宅施工現場見学



②木造住宅講演会

- ・伝統工法を手掛ける大工棟梁による講演会



21年度

平成22年度 九州ブロック研究集会「建築士の集い」福岡大会レポート 個から集へ

大支部 伊藤 憲吾

去るH22年7月3日(土)、福岡県の福岡国際会議場にて行われた「建築士の集い」に参加して参りました。

私は大支部の青年部長ということで拜命されておるのですが、実のところ「建築士の集い」に参加するのは初めてでございます。お恥ずかしい限りです。

支部より交通費の補助を出していただけたというので、それに甘え高速バスを利用させていただきました。バス内では初顔合わせとなる士会員の方々と和気あいあいと移動させていただきました。生憎の小雨模様でしたので話題の中心は「傘は持ってくるべきだったか？」になっておりました。まるで遠足気分でございます。そんなワクワクした気分のまま、無事に福岡に到着。福岡もやはり小雨模様。傘は持っている方が正解です。傘持ちの方はニヤリ。数本の傘に肩を寄せ合いながらタクシーに乗り、宿泊予定のホテルへチェックイン。その後、少々時間がありましたので、まずは腹ごしらえと近所を散策いたしました。見つけたのはおいしそうなラーメン屋。私はこの店の一押しらしい「ちゃんぽん」を注文。。。よくよく考えると、ここまで来てなぜ博多ラーメンを頼まなかったのか？今以って悔やまれる出来事でございます。

お腹を満たし、いざ会場へ。



会場は「福岡国際会議場」。日建設計による設計です。職業柄、全体構図を抑えた写真を撮り、細部ディテールの写真を撮り、危うく目的を忘れるところでもございました。今日は建築見学ではなかったことに気づきました。



受付は、大変な混みようです。九州各県の建築士が集まっているのでそれもそのはず。顔つきを見れば、沖縄顔、鹿児島顔、宮崎顔、、、同じ九州でなぜこんなに顔立ちが違うのだろうか？と、つつい趣味の顔立ちの研究を始めそうになりました、、、またもや目的を見失うところでもございました。危ない、危ない。

さて、受付も無事に済ませ頂いた資料を見ると、参加者リストが入っておりました。ナント大分県の参加人員は下から2番目！ブービーでございます。最下位はどこだと目をやると、沖縄県、、、それは仕方がないことです。地の利がないのですから。という事は、大分県が実質の最下位。。。うーん、私も初めての参加なのでここは閉口しておきます。

さて今回の大会テーマは「筑紫からアジアへ拓く、建築士の新時代 ～地域の元気を取り戻す、地域貢献活動～」でもございました。このテーマから私が想像するところは、中国を中心としたアジアの好景気時代に

向けて、ターミナルとしての福岡と九州の位置づけを問うてくれるのではないかと期待していましたが、内容は思っていたものとは違っていました。予想が外れた事は、少々残念ではありましたが、内容自体は充実したものであったと思います。

まずは分科会が始まりました。



第一分科会は大会テーマに基づき、各県の代表パネラーがパネルディスカッションをするというものです。私はコチラに参加いたしました。大分県からは別府支部さんがパネラーとして参加され、有意義な議論を繰り広げておられました。

第二分科会は「博多の歴史と山笠めぐり」と題し、博多の文化に触れながら散策をするというツアーだったようです。参加者にお話を聞いたところ、コチラも有意義なものであったようです。

各分科会が終了し、大会が始まりました。

式典の諸々がとり行われ、「地域実践活動」の報告が始まりました。

先ほどの第一分科会の拡大版といった雰囲気、各県の代表がそれぞれの活動をプレゼンテーションしていきます。



別府支部さんは、日出町にある人間魚雷「回天」の基地跡の保存運動についてです。こういった近代建築に関する保存運動は、現在求められている要素だと思うので、私個人としては他県のプレゼンよりも意義を感じました。

各県の発表が終われば、会場にいる皆さんによる投票が行われます。その結果により全国大会での発表県が決めます。

気になる結果は・・・この後の懇親会で！とのことでした。

さて、会場を移し懇親会のスタートです。



人、人、人です。この人数は圧巻です。みんな建築士です。個人活動が多い建築士がこれだけ集まる場もそうないでしょう。

気になる投票結果は、、、残念でした。個人的には納得いきませんが致し方ありません。勝ち抜いた佐賀県さんに頑張って頂きましょう。



懇親会は大いに盛り上がりました。様々なレクリエーションも楽しめましたが、他県の方とも交流を深めた事が何よりも楽しかったように思われます。

「建築士の集い」を終えて、、、

建築士というのは個人です。個人でありながらも重たい責任を背負っています。昨今、その重さは増しているように感じているのは、私だけではないと思います。もちろん大分の建築士だけでもございませぬ。九州、全国の建築士が一様に感じている事だと思います。

こういった＜場＞に在ることで、個である建築士が集へと変わります。人は古来より一人で生きておりません。厳しい時代で厳しい局面を迎えている今だからこそ、相互理解を深め、力を合わせる為の準備をしておくべきではないでしょうか？

特に若い世代は、人に出会うこと、交流する事に臆病になっているように感じます。ネットの世界ではできて、現実世界で出来ない、そんな事柄が増えつつあるように感じています。今こそ、積極性を持ち、行動力を示すことが未来の建築業界をつくる事になるのだと感じています。

情報過多と呼ばれ久しくなった今、徐々に問われつつある各種団体の存在意義。その答えの一つがここにあったように思います。

平成
22年度

九州プロ 『建築士』

日田支部 小笠原 龍司

今年の「建築士の集い」は、福岡市博多区にある福岡国際会議場にて開催されました。

私が、参加した第1分科会では、木挽棟梁である杉岡世邦氏 コーディネーターのもとパネルディスカッション方式とし、各県8分間の活動報告を行いました。



本大会のテーマは、「筑紫からアジア拓く、建築士の新時代」～地域の元気を取りもどす、地域実践活動～を掲げ、日本人の生活環境は、発達し便利になったが、そのためどの地域においても変わり映えしない均一化した社会となっている。しかし、建築士会では、もう一度“地域”を見つめなおし、本当に、大切な活動は何なのか、次世代へ何を伝えていくべきなのかを考えるものでした。

大分県建築士会では、人間魚雷「回天」大神基地跡の保存・啓発活動に取り組んでいます。人間魚雷とは、太平洋戦争で、日本海軍が劣勢に立たされた時、自ら改造した魚雷に乗り込み体当たりする兵器です。「天を回らし戦局を逆転させる」という意味で「回天」と名づけられました。

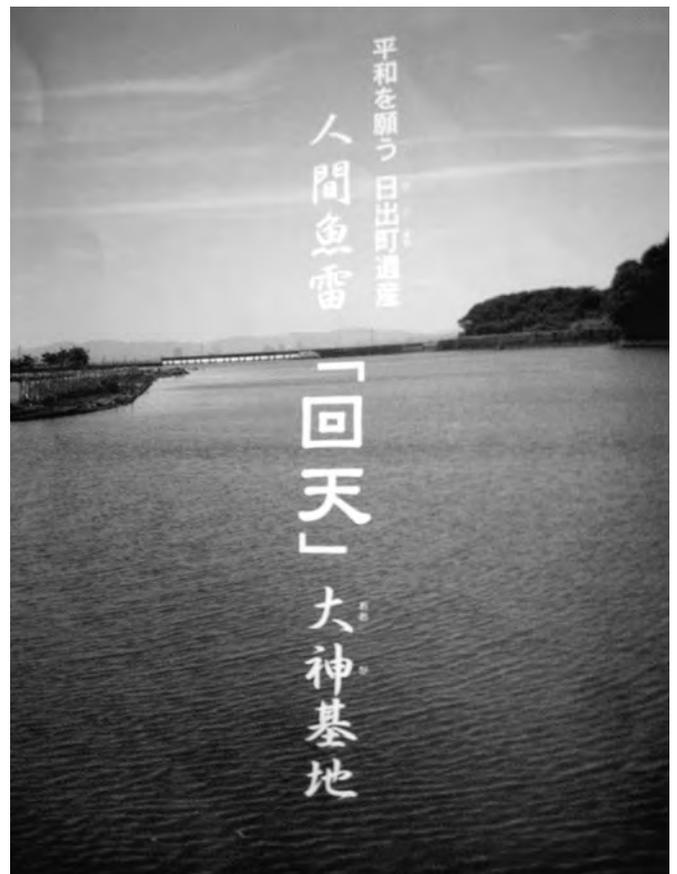
ツク研究集会 の集い』福岡大会に参加して

この様な基地は、日本に二か所しか残っていないので地域の方は、この「負の遺産」を調査し、保存する活動を行っています。より多くの人に知ってもらうことで、戦争のない平和な未来を願い、子どもたちの平和教育に活用していけるよう環境づくりをしています。

各県とも町の特徴を詳しく調査しており分かり易くまとめてありました。学校をより良くするため改善し、歴史あるものを次世代に残そうと工夫し活動していて、とても勉強になりました。

建築士の集いの後には、懇親会があり多くの方々とお話しさせて頂きました。

大変貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございます。





接遇 & 営業力アップ! コミュニケーション研修

大分支部 大村 武司

平成22年6月5日に大分支部青年部の主催で有限会社ファニーフェイスの山村美穂子代表を講師に『営業力アップ!接遇&コミュニケーション研修』が行われました。

人と接する機会が多い建築関係者にとって欠かせない能力なので少しでも自分自身のスキルアップにと今回の研修に参加しました。

研修は自己紹介から始まり第一印象の大切さ、身だしなみ、お辞儀、名刺交換の方法をグループ内で話し合ったりお互いに発表し合い研修は行われました。

名刺交換の正しい方法は勉強になりました。なんとなく正しいだろうと思ってやっていたことを正すことができるいい機会になったと思います。

名刺を渡すときは相手の名刺ばかりを気にしていたのですがきちんと顔を見て挨拶からすることが大切だと学びました。



特に第一印象は大切で見た目が与える影響は大きく顔の表情で印象が変わることを身をもって感じました。

口元が少し笑顔だと確かに話しかけやすく印象が良くなります。

普段は目上の人と接することが多く言葉使いには気をつけているのですが顔の表情はおそらく強張っていたと思います。

オーナー様との打合せなど人と人が接する場面は多々あります。身だしなみや名刺交換はもちろんのことよりよい印象を与えることを『笑顔』で心掛けます。

今回の研修をきっかけに忘れかけていた『初心』を思い出すことができ大変有意義な時間を過ごせました。

亀川駅 さよならイベント

別府支部 工藤 圭介

平成22年7月24日、明治44年の開業以来99年の歴史に幕を閉じる旧亀川駅で、木造駅舎との別れを惜しむイベントが歴代の駅長も参加し開催されました。

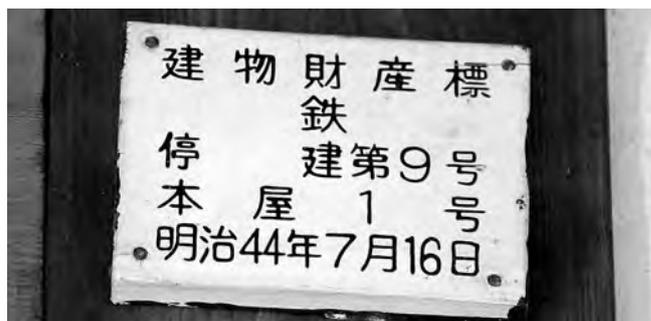
亀川駅は、出入口が東側にあり、西側の太陽の家や別府医療センターを利用するには大きく迂回する必要があり、この状況は、身障者や高齢者にとっては大きな障害でした。

バリアフリーのまちづくりを推進するため、駅舎部分に東西の自由通路を設置し、あわせて駅前広場を整備する計画となっています。その一環で既存木造駅舎を解体することとなりました。



【左側の待合室は解体されファサードは残っていない。】

現在では、別府八湯の一つである亀川温泉ですが、明治44年に亀川駅（当時は速見郡御越町）が開業し、その後海軍病院誘致（大正14年開業）、別府市編入（昭和10年）以降では、身障者福祉施設として全国的に有名な太陽の家が設立される等、亀川独自の発展を遂げてきました。



【建物に書かれた財産標から開業当時のままのようである。】



イベント当日は、すでに駅機能が新駅舎に移ったこともあり、昭和45年まで並走していた路面電車等のなつかしい写真や、若手造形作家の作品も展示され、改札や信号の操作盤等も残っており意外性からか面白い空間と感じました。



長きにわたって存在していた建物がなくなると、今まで気にも留めなかった建物であっても、景観に与える影響は良くも悪くも大きく、とくに今回のように99年間存在した駅舎となればなおさらで・・・。

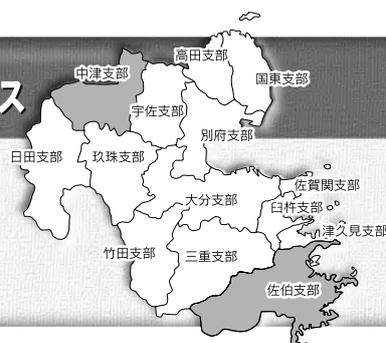
新駅舎が、周囲の景観における新たなランドマークとして溶け込み、数十年後に皆に愛され、良かったと思える存在であってほしいと思いました。

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和32年11月27日
- ★勤務先 久恒森林株式会社
- ★趣味 家庭菜園、メダカの繁殖

★将来の夢、モットー等

知り合いの紹介で建築士会中津支部に入会させていただきました。生まれてずっと名古屋近郊に住んでいましたが、昨年末妻の実家の中津に引っ越してきました。

仕事は、山の管理や木材の生産を行っています。最近 は国産材への回帰で、フォローの風も吹いていますが、木材の価格は低く、林業経営はとても厳しいです。

私も適切な山の施業を行うために、週に1～2回は山へ行きます。素敵な山の景色や鳥の鳴き声、可愛い鹿(本当は木の芽や皮を食べるので歓迎しません)に出会えます。建築士会のみなさんにも山を知っていただきたいと思います。いつでもご案内しますので、お声をかけてください。

大分の木材をもっと構造・内装に使っていただけるよう努力していきたいと思います。それにより、きれいな空気、きれいな水そして地球温暖化の防止にもつながっていきます。ご協力のほど、よろしくお願いたします。



近藤 久晴 (中津支部)

- ★生年月日 昭和39年1月10日
- ★勤務先 (有) 御手洗設計
- ★趣味 ギター、読書、
ガーデニング(主に野菜)

★将来の夢、モットー等

建築士会には、10年ほど前に入会しました。専ら忘年会等が主な活動場所でしたが、サマーセミナーや、九州パッション等に参加することで、多くの刺激や、色々な経験をする事ができました。

今後は建築士会の活動に積極的に参加し、有意義な経験を積み、日々の生活に生かし、明るい社会の創造に(笑)、少しでも貢献できればと思っています。今後とも宜しくお願いします。



藤田 康弘 (佐伯支部)

MY WORK

- ★建物名称 H邸
- ★建築場所 杵築市大字宮司字年ノ神617番地2
- ★設計者 清末一級建築士事務所 清末 幸生
- ★施工者 榎本建築 榎本 春海
- ★構造 木造平屋建
- ★規模 木造平屋建 129.49㎡
- ★設計趣旨

この建物は、杵築市からのオレンジ道路入り口附近に位置しております。平面計画についてのポイントは下記の6項目
1・土間玄関 2・勝手玄関(家族専用) 3・和風平屋建てにて家族の気配が感ずる家 4・空調冷房好まず(工口的住宅) 5・土塗り壁 6・高断熱

以上の要望にて、廊下を設けず洋室居間を中心に、土間玄関・和室寝室・DK・子供室を配したプランとし、引込建具を多用し、健康的かつ開放的な家造りを目指しました。

通風計画は特に配慮をし、水平方向(窓開口)はもちろんですが、光筒(トップライト)及び収納部分(押入等)に縦方向のかぜ道としての工夫を施し、土間玄関(打ち水:冷却効果)、よしず(夏障子)及び植栽計画とを合わせ、夏季の暑さに対して自然の涼しい風が通り抜ける家となっています。



MY WORK

- ★建物名称 O様 邸
- ★建築場所 宇佐市大字中原
- ★設計者 (株)奥田組一級建築士事務所
奥田和彦
- ★施工者 株式会社 奥田組
- ★構造・面積 木造2階 148.22m²
- ★用途等 専用住宅
- ★設計趣旨

- ①外部の木目と黒のコントラスト
- ②玄関横にスロープを付けました。
- ③階段をカッコよく見せたい
- ④和室とリビング空間のつながり

★苦労した部分

ダイニングが外部に面していないため、
いかに日差しを取込むか考えました。



- ★建物名称 K-FLATS
- ★建築場所 別府市浜脇2丁目
- ★設計者 ETO空間アトリエ一級建築士事務所
- ★施工者 三光建設工業株式会社
- ★構造・面積 鉄筋コンクリート造3階建
延べ352.82m²

★設計趣旨

この建物は、別府市浜脇の道路に囲まれた変形敷地に建つワンルームマンションである。変形した敷地をどこまで有効に使うことができるかが今回の課題でもあった。

1階は一部飲食店が入り、3階はオーナー宅となっている。

浜脇高等温泉をはじめとするモダン建築と、レトロな木造建築が混在したかつての町並み（風景）を意識しながら計画した。周囲に溶け込むよう、三色のグリッドに塗り分けボリューム感を押さえている。オーバーデザインは控え、デザインの核となる階段室は夜の行灯となり通りを照らす。

地域のランドマーク的な役割を、少しでも担ってもらえればと願うものです・・・



BOOK My Best Book

マイベストブック

【フリーター家を買う】有川 浩
大支部 岐部 和久

フリーター、家を買う。このタイトルに引かれて帯を見ると「母さん死ぬな」と刺激的な内容が…。本屋に平積みになっていたこの本に目が留まる。フリーターなのに家を買う？母さん死ぬな？何じゃこりゃ…で、気になって一寸立ち読みすると土木会社の内容がチラッと書いてある。面白そうだ、買ってみるか。

文系2流大学卒の主人公が、3ヶ月でせっかく就職した会社をあっさり辞めてしまう所からスタートする、やはりと言うか再就職できずにフリーター化していく内容は、現在の社会にシンクロ感のある内容だ。

生真面目だが酒癖の悪い父親と物静かな母親、早くから大人びてしまわざるを得なかった姉、自分のことを棚に上げて世間に不満たらたら主人公。

近隣の妬みからいじめられ続けた母親は、重篤な鬱病になってしまう…

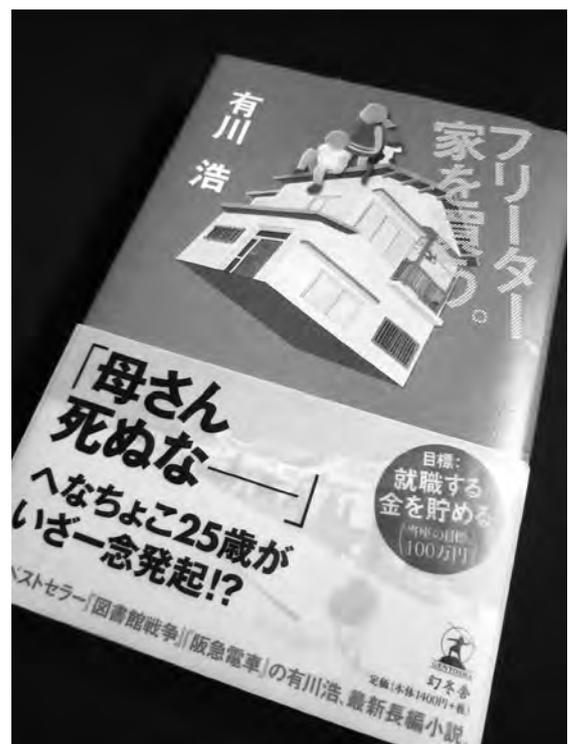
フリーターになって何も出来ない自分と、全てを知っていた姉に対して自分の情けなさを思い知った主人公は一念発起して、就職活動と貯蓄を目指す事を決意する。

淡いロマンスもありのこの本は、社会の落ちこぼれになってしまった主人公が、一念発起して成長していくよくある内容なのだが、土木工事のバイトで建設業界に入り込み、その会社の社長やガテン系のおっちゃんたちの心の暖かさや広さを感じ、成長していく内容は、建築業にいる私にとってリアルな想像が出来る内容で、面白い。

作者は「図書館戦争」シリーズのアニメ化や「阪急電車」「植物図鑑」などの注目作がある有川浩(ひろ)さん。男性作家なのかと思いきや、女性作家。

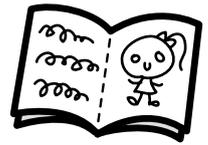
就活部分は自分自身の経験で、土木会社の内容はまったく縁が無かったので調査が大変だったそうだ。

偏見を持たず素直にこの内容に入れれば、仕事をする事、やり甲斐とは何であるか？自分の駄目さ加減を学ぶことから、他人や家族に対しての思いやりなど、主人公が成長していく姿を感じ取れると思う。





My Best Book



マイベストブック

【大分県の山】山と溪谷社

臼杵支部 三重野元良

このような趣味の本は良く読んでいます。私が高校時代に、この手の部活に在籍していたこともあり、特にこの類のガイドブックは楽しんでます。約10年前に運動不足等のため、右膝の水を数回抜くことができました。治療のためには、両腿の筋力アップが絶対条件と言われ、再び登り始めるきっかけとなりました。

そして臼杵市民には馴染みのある鎮南山(475m)に日曜日の朝、登り始めて、年間40数回までこなしてきました。5年前から九重山群と周辺の山に目を向けるようになり、部活以来の登山は、その当時と変わらぬ道すがら、自然が際立つ山の多彩さに引き込まれて行ったのは言うまでもありません。

この本で傾山(大分と宮崎の県境)には6ルートが記載されていて、最も健脚向けとなる杉ヶ越ルートを4人で往路5時間かかり、4月末なのに山頂は3℃、復路は足元に霜柱を踏み締めての下山となりました。

それから経験のない家内が市内の鎮南山について来るようになり、また2年前からは三俣山、久住山、中岳、平治岳などを制覇しました。最近の九重山群にはカラフルな装備の女性達(高年齢含む)が多くなりました。しかし山の天気は急変することが常で、ガスや雨に遭遇して、雨具を取り出し、ツルツルの黒土に足を取られながらの天ヶ池周辺では、泣きそうな家内をなだめつつ、気遣いで大変な下山でした。

大分県は九州登山のメッカと記されていて、すべてカラー写真で地図、時間、距離、難易度まで紹介されて本当に登山の参考書です。還暦を迎える私にとって運動不

足解消と10%の減量ができ、四季折々の自然を楽しみながら、家内を連れて登れることに感謝する次第です。次はどこの山に…



【商人 龍馬】津本 陽/日本経済新聞出版社

玖珠支部 白地 泰憲

この本の題名「商人 龍馬」ですが…「坂本龍馬」はサムライ、幕末の志士、では？

商人は「岩崎弥太郎」じゃきに！

詳しい題名の説明は本編を読んでいただけたら解ると思います。

大河ドラマ「龍馬伝」に影響され「龍馬」の本を探しに書店に行ったものの…司馬遼太郎の「竜馬がゆく」は文庫本、全八巻で途中棄権の文字が頭に浮かびつつ挑戦する意欲だけでは攻略不可能！と別の本棚に目を遣るとそこに「商人 龍馬」がありました。

この本を手にとり目次を見ると龍馬さんの全てが一冊に凝縮されているではありませんか！早速レジで購入し帰宅後、一気に攻略成功しました。

もとより歴史小説が好物な私ですが、幕末から明治維新ものの小説は興味がなく主に「戦国」ファンでした。ブームにつられて初めての「幕末」ものでしたが読み応えのある小説でした。詳しい内容は読んでのお楽しみとして…但し単行本一冊に「龍馬」の一生が描かれているので登場人物や背景がめまぐるしく変化するので予備知識が必要です。「龍馬」年表を参考にして読まれるのをおすすめします。

いよいよ「龍馬伝」もクライマックスに向かっていきます。ドラマの坂本さんがどのように大仕事に挑むのか見ものですが、この小説で「あらすじ」を読んで「大河」の流れを観てはいかががでしょうか！

この本を読み「龍馬」にいつそうの興味がわきましたので同じ著者の「龍馬」全5巻に挑んでます。

「ちくっ〜と、よんでくんだんせ！」



おおいだ建物発掘隊

大分市編

戦争遺跡とアート

佐伯支部 長田 孝治



佐伯市の中心にある城山には、手付かずの自然が多く残されています。大手門跡から石畳を歩いて行くと「三の丸櫓門」（大分県指定有形文化財）が見えてきます。この櫓門は「黒門」とも呼ばれているもので、佐伯城の遺構として唯一残っているものです。この櫓門に釘付けされている「櫓門の記」という板書によると、寛永14年に創建され、享保11年に再建されたとあります。つまり、藩庁として山麓の三の丸が機能し始めたときに創建され、山頂部の山城修復工事の一環として再建されたということであろうと推測されます。さらには天保3年、11代藩主毛利高泰（たかやす）の時代にも手が加えられ、現在の門はこのときの姿をとどめるものだとされています。お越しの際は、ぜひくぐってみてください。



門の下層は石垣に切り開けた3間1戸片潜戸付き門で、上層は櫓で、入母屋造本瓦葺、前後に庇屋根付、白壁塗込めで中段より下は簾子下見墨塗りとされています。正面と背面には、それぞれ格子窓が付けられ、両側面には出入り口が付けられていて、前後の庇は石落としの形を残すものです。



ぐるめ探訪

賑やかな 気配り食堂

別府支部 須藤 祐未



平日18時。街中は静かだがお店に入ると、賑やかな声が聞こえる。満席。少し待つとカウンターがあいた。まずはビールを注文し、料理はケースに入った好きなおかずを取る。壁に貼ったメニューから頼んでもいい。



サラダから刺身、馬刺し、煮魚、からあげ、焼きナス、煮物…いろいろな料理が並んでいる。からあげ、焼きナス、煮魚をとってお店の方々へ。ちょっと待つと温かく味のしみ込んだ煮魚、かつおぶしがかった焼きナス、ネギソースがかかりカラッと揚がったから揚げが運ばれてきた。どれも美味しい!!

ケースから取るだけだと思っていたので、ちょっとした手間を加えてくれるのが嬉しい。

店の中はお年寄りから若い女性まで幅広い人の声で賑やかだった♪

【うれしや食堂】

別府市駅前町7-12 ☎ 0977-22-0767

和風、創作料理 一押しの店

日田支部 櫻木 弘三郎

日田駅から北西に向かって歩くこと8分、寿通り三本松交差点の程近く、和風のたたずまいをしたお店が、今回紹介する『お料理高嶋』です。

白い暖簾をくぐると、『いらっしやい!』と力強い声で迎えてくれます。この声の主が大将の高嶋さん。

高嶋さんほど『大将』という言葉が似合う男はいない…と私は思っています。外見はちょっと怖いけれど、気さくで面倒見の良い兄貴肌。美味しい料理はもちろんのこと、大将との語らいも楽しみのひとつです。



お料理高嶋は和風、創作料理のお店で、その落ち着いた雰囲気は少人数向きでしょうか。ひとつ深いお付き合いの席、デートや接待の場に適しています。

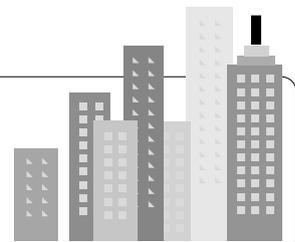
メニューには単品料理もあるけれど、私は『大将おまかせ2,500円コース』をおすすめします。小鉢に始まり、刺身・焼き魚・肉・天ぷら、野菜・汁物・ご飯。その時々旬なもの、品数たくさん美味しいものが、リーズナブルな価格でとても嬉しい。

高嶋さんもスタッフの皆さんも温かい人柄で、楽しくお食事ができます。日田を訪れる際には是非ともこちらのお店で!

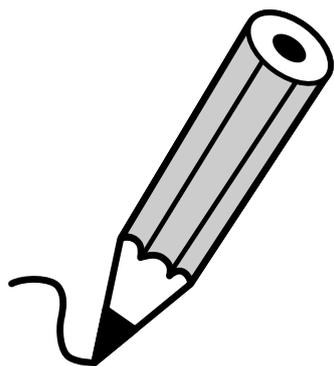


【お料理高嶋】

日田市三本松1丁目7-8 ☎ 0973-23-4221



● ● ● ● 国勢調査へのご協力依頼 ● ● ● ●



あなたの調査票 から日本の未来 が見えてきます

- ▶ 国勢調査の結果は、地域のまちづくりに生かされます。
- ▶ 国勢調査員が調査票の配布にうかがいます。
- ▶ 調査票の記入がお済みになりましたら、封をして調査員に渡すか、市区町村に郵送してください。



国勢調査

平成22年10月1日

9月23日から国勢調査員がうかがいます。

総務省統計局

構造設計者を対象とした 講習会開催のお知らせ

主催：(社)大分県建築士会 建築構造技術センター

建築基準法の改正に伴う構造計算適合性判定の審査業務も3年が経過しました。そこで、この間の審査業務報告と、構造設計者の実務に資するため、講習会を開催することといたしました。奮ってご参加いただきますようご案内いたします。

- 開催日時 平成22年12月3日(金)13:30~16:30
- 会場 アートプラザ 2階 研修室(大分市荷揚町3-31)
- 定員 50名(定員になり次第締め切らせていただきます)
- 受講料 無料

●時間割

13:30 ~ 14:30	ご挨拶	(社)大分県建築士会 井上正文 副会長
	「構造計算適合性判定の審査に関連して」	(社)大分県建築士会 建築構造技術センター 佐藤典美 技術審査部長
14:30 ~ 16:30	「鉄骨構造の最近の動向と課題」	九州大学 人間環境学研究院長・ (大学院)人間環境学府長 河野昭彦 教授

●CPD認定単位：3単位

申込方法・申込先

氏名、連絡先、会員・非会員の別を記載の上、(社)大分県建築士会 建築構造技術センター事務局へFAX(097-529-5567)にてお申込みください。受付後、受講票をFAXで送付いたします。

詳細については、同センターこのみ許斐 ☎097-529-5565 までお問い合わせください。

平成22年度 通常総会報告

5月26日(水)13時30分より、大分文化会館において平成22年度通常総会が開催され、平成21年度事業報告・収支決算報告、平成22年度事業計画・収支予算が満場一致で可決されましたので、以下のとおりご報告いたします。

1. 平成21年度事業報告書(略)
2. 平成21年度収支決算書

◎収支決算書

自：平成21年4月1日 至：平成22年3月31日

(1) 収入の部(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額
会費収入	15,851,200	14,160,600
事業収入	3,369,200	1,422,426
補助金交付金収入	300,000	300,000
雑収入	105,000	118,055
積立預金取崩収入	0	0
繰越金	5,153,251	5,153,251
寄付金収入	0	0
収入合計(A)	24,778,651	21,154,332

(2) 支出の部(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額
管理費	7,365,000	5,523,800
事業費	16,513,651	14,052,034
予備費	900,000	13,800
支出合計(B)	24,778,651	19,589,634
次期繰越収支差額(A-B)		1,564,698

◎貸借対照表(略)

◎財産目標 平成22年3月31日現在

(1) 資産の部

1. 流動資産			43,867,242
普通預金	大分銀行	6,888,096	
現金		11,480	
定期預金	中央三井信託銀行	10,000,000	
定期預金	みらい信用金庫	8,406,666	
定期預金	豊和銀行	8,000,000	
未収入金	女性建築士による県産 木造住宅建設支援事業	561,000	
立替金	建築構造技術センター	10,000,000	
2. 固定資産			1,320,000
敷金	田原ビル	600,000	
	アネックス大手町	720,000	
資産合計(C)			45,187,242

(2) 負債の部

I 流動負債			581,802
未払金	消費税	111,100	
預り金	大分支部敷金	120,000	
	労働保険料等	122,782	
	所得税	227,920	
II 固定負債			41,830
	災害引当金	41,830	
負債合計(F)			623,632
正味財産(G)=(C)-(F)			44,563,610

◎余剰金処分

本年度剰余金 1,564,698円

これを次のように処分する。

次年度繰越金 1,564,698円

以下のとおりである。

平成22年5月26日

社団法人 大分県建築士会
会長 芳山 憲祐

3. 監査報告書

平成21年度決算書(収支計算書・貸借対照表・財産目標)及び会計諸帳簿、関係書類等の監査を実施致しましたが、正確かつ適正であることを認めます。

平成22年4月28日

監事 道吉 栄一
監事 豊島 範幸
監事 稲葉 孝博

4. 平成22年度事業計画

1. 新公益法人制度について

(1) 新公益法人制度への移行のための調査及び検討

2. 社会的活動

- (1) おおいた地域貢献・まちづくり活動センターにより地域貢献・まちづくり活動の活性化に寄与
- (2) 景観整備機構により良好な景観の形成に寄与する
- (3) 応急危険度判定業務のネットワーク構築
- (4) 「建築士の日」の事業実施

3. 教育活動

- (1) 専攻建築士制度・継続能力開発制度の推進
- (2) 「すべての建築士のための特別総合研修」(旧指定講習会)の実施
- (3) 建築基準法及び関係法令等の講習会の実施
- (4) 研修会、研究集会の実施
- (5) 全国大会への参加 10月22日(金)佐賀市
- (6) 九州ブロック主催の講習会、研修会への参加

4. 組織の強化と活性化

- (1) 会員の増強
- (2) 財政強化
- (3) 青年、女性建築士活動の推進
 - ・全国青年委員長会議、全国女性建築士連絡協議会への参加
 - ・「建築士の集い」福岡大会への参加
 - ・サマーセミナーの実施

5. 建築行政及び関係団体への協力

- (1) 大分県建築物総合防災推進協議会への参加
- (2) 違反建築物防止週間及び建築物防災週間への協力
- (3) 大分県木造住宅等推進協議会への協力
- (4) その他行政関連団体への協力

6. 受託事業

- (1) 一級、二級、木造建築士試験業務
- (2) 昇降機等定期検査報告業務
- (3) 構造計算適合性審査受託業務
- (4) 景観整備機構としての業務
- (5) 一級建築士免許登録等業務
- (6) 登録・閲覧事務、定期講習
- (7) その他、建築・まちづくり等に関する受託業務

7. 広報・福利厚生業務

- (1) 「建築士おおいた」の発行及び連合会発行の「建築士」の配布
- (2) ホームページの充実
- (3) IT活用によるネットワークづくりの推進
- (4) 図書の紹介及び斡旋
- (5) グループ保険の普及及び加入促進
- (6) その他、会員の福利厚生に関すること

8. 平成23年度収支予算書

自：平成22年4月1日

至：平成23年3月31日

(1) 収入の部 (単位：円)

勘定科目	前年度決算額	本年度予算額
会費収入	14,160,600	15,042,600
事業収入	1,422,426	3,476,000
補助金交付金収入	300,000	300,000
雑収入	118,055	116,000
積立預金取崩収入	0	2,700,000
繰越金	5,153,251	1,564,698
収入合計(A)	21,154,332	23,199,298

(2) 支出の部 (単位：円)

勘定科目	前年度決算額	本年度予算額
管理費	5,523,800	6,590,000
事業費	14,052,034	16,159,298
予備費	13,800	450,000
支出合計(B)	19,589,634	23,199,298

編集委員会では みなさんの投稿を待っています。

絵・スケッチ・CG・詩・短歌・俳句・随想なんでも結構です。あなたの知られざる才や技を御披露いただきたいのです。

各支部の編集委員までおとどけください。本部に直接送ってくださってもかまいません。よろしくお願い致します。

平成22年度 新役員名簿

役職	所属支部	氏名	備考
会長	大分	芳山 憲祐	
副会長	〃	井上 正文	
〃	〃	末成 祐二	
〃	臼杵	三重野 元良	
〃	別府	幸 勝美	
常務理事	大分	石井 鏡成	
〃	〃	大塚 文美	
〃	〃	阿部 文昌	
理事	高田	清未 幸生	(支部長)
〃	国東	上野 貢一	(支部長)
〃	別府	寺林 貞臣	(支部長)
〃	〃	河村 靖	
〃	大分	宮崎 隆博	(支部長)
〃	〃	後藤 悟	
〃	〃	長野 保幸	
〃	〃	仲摩 和雄	
〃	〃	山本 哲	
〃	〃	山本 伸二	
〃	〃	竹尾 憲和	
〃	〃	鈴木 義弘	
〃	〃	豊島 範幸	
〃	〃	中園 幸治	
〃	〃	末成 祐二	
〃	〃	穴井 輔嘉	
〃	佐賀関	嵯峨 雄二	(支部長)
〃	臼杵	板井 登喜雄	(支部長)
〃	〃	若林 純一	
〃	津久見	竹田 光徳	(支部長)
〃	佐伯	井上 一則	(支部長)
〃	〃	小川 稔浩	
〃	三重	岡部 達巳	(支部長)
〃	竹田	伊東 政博	(支部長)
〃	玖珠	須賀 文廣	(支部長)
〃	日田	藤原 秀樹	(支部長)
〃	〃	梶原 勝久	
〃	〃	養父 信義	
〃	中津	富部 直	(支部長)
〃	〃	中尾 忠廣	
〃	〃	工家 一彦	
〃	〃	山村 増治	
〃	宇佐	身深 文廣	(支部長)
〃	〃	椀田 康一	
監事	大分	沖本 進	
〃	〃	佐藤 富士雄	
〃	〃	児島 亨	



事務局だより

【会議等報告】

■三役会

日時 平成22年4月16日
 場所 建築構造技術センター
 出席 8名
 議題 1) 21年度決算及び22年度事業計画・
 予算について

■会計監査

日時 平成22年4月28日
 場所 事務局
 出席 監事・役員5名、事務局3名

■第1回総務担当役員会議

日時 平成22年4月28日
 場所 事務局
 出席 2名

■第1回理事会

日時 平成22年5月12日
 場所 コンパルホール
 出席 理事29名、監事1名、女性部会長1名
 議題 1) 21年度事業報告及び収支決算報告
 2) 22年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 3) 定款の改正について
 4) 新公益法人について
 5) 役員改選について
 6) その他

■女性部役員会

日時 平成22年5月18日
 場所 事務局
 出席 3名
 議題 1) 22年度事業について
 2) その他

■平成22年度青年部通常総会

日時 平成22年5月26日
 場所 大分文化会館 第1小ホール
 出席 18名
 議題 1) 平成21年度事業報告及び収支決算の
 承認について
 2) 平成22年度事業計画(案)及び
 収支予算(案)の決定について
 3) 任期満了に伴う役員改選について

■平成22年度通常総会

日時 平成22年5月26日
場所 大分文化会館 第1小ホール
出席 出席者 60名、委任状344名 計404名

■県北青年部会議

日時 平成22年6月12日
場所 奥田組事務所
出席 5名
議題 各支部の今後の活動報告について

■三役会

日時 平成22年6月17日
場所 事務局
出席 8名
議題 1) 平成22年度第3回理事会について
2) その他

■第3回理事会

日時 平成22年6月23日
場所 大分第一ホテル
出席 38名
議題 1) 常設委員会・特別委員会委員の選任について
2) 顧問・相談役の委嘱について
3) 青年部会・女性部会新役員の紹介
4) 平成22年度事業計画・予算について・
名簿作成等について
5) その他

【委員会報告】

■第1回編集委員会

日時 平成22年4月10日
場所 コンパルホール
出席 13名
議題 「建築士おおいた」108号の発行について

■第1回広報委員会

日時 平成22年6月30日
場所 コンパルホール
出席 5名
議題 1) 委員会役員の選任について
2) 22年度事業について
3) その他

■第1回調査研究委員会

日時 平成22年7月5日
場所 コンパルホール
出席 12名
議題 1) 平成22年度事業計画について
2) その他

■第1回総務委員会

日時 平成22年7月9日
場所 コンパルホール
出席 10名
議題 1) 平成22年度事業について
2) その他

■第1回広報・編集委員会合同会議

日時 平成22年7月10日
場所 コンパルホール
出席 19名
議題 1) 編集委員会委員長、副委員長の選出
2) 22年度事業計画について
3) 編集方針について
4) その他

■第1回事業委員会

日時 平成22年7月13日
場所 コンパルホール
出席 12名
議題 1) 平成22年度事業計画について
2) その他

■第1回CPD・専攻建築士特別委員会

日時 平成22年7月13日
場所 コンパルホール
出席 12名
議題 1) 平成22年度事業について
2) その他

■第1回まちづくり推進協議会

日時 平成22年7月22日
場所 コンパルホール
出席 15名
議題 1) 平成22年度事業について
2) 景観整備機構について
3) その他

■第1回おおいた地域貢献・
まちづくり活動センター

日時 平成22年7月22日
場所 コンパルホール
出席 5名
議題 1) 景観整備機構について
2) 助成対象事業完了報告について
3) 22年度事業について
4) その他

■第2回調査研究委員会

日時 平成22年8月4日
場所 コンパルホール
出席 10名

- 議題 1) 平成22年度地域伝統文化総合活性化事業について
2) その他

【建築士会連合会関係】

■第451回定例理事会・士会長合同会議

- 日時 平成22年5月28日
場所 東京都
出席 芳山会長
議題 1) 平成21年度事業報告について
2) 平成21年度補正予算および平成21年度収支決算について
3) 平成22年度事業計画(案)及び平成22年度収支予算(案)について
4) 第55回建築士会全国大会(茨城大会)の開催日程等について
5) 後援名義等の使用許可について
6) 平成22年度通常総会の運営について
7) その他

■全国女性建築士連絡協議会

- 日時 平成22年7月16日～17日
場所 東京都
出席 中道了子女性副部長、
仲道美紀女性副部長
概要 基調講演、パネルディスカッション

【九州ブロック会関係】

■第1回青年建築士協議会・女性建築士協議会

- 日時 平成22年4月3日
場所 福岡市
出席 後藤青年部顧問、岐部青年部会長、
阿南女性部会長、宇野女性副部長
議題 1) パッションinみやざき大会決算報告について
2) 「建築士の集い」福岡大会進捗状況について
3) 「建築士の集い」沖縄大会進捗状況について
4) 全国大会佐賀大会の進捗状況について
5) その他

■九州ブロック会総会

- 日時 平成22年5月18日
場所 熊本市
出席 芳山会長、沖本副会長
議題 1) 平成21年度事業報告及び収支決算について
2) 平成22年度事業計画及び収支予算について
3) 各県提出議題他

■第1回青年建築士協議会・

- 女性建築士協議会運営委員会
日時 平成22年7月3日
場所 福岡国際センター
出席 山村青年部会長、奥田青年部副部長、
中道女性部副部長、宇野女性部副部長

■九州ブロック建築士研究集会「建築士の集い」福岡大会

- 日時 平成22年7月3日
場所 福岡市「福岡国際会議場」
参加 36名

【建築士試験関係】

■二級・木造建築士試験受験申込受付

- インターネット受付 4月1日～7日
<二級> 学科 48名、製図 16名
<木造> 学科 0名、製図 0名
4月12日～16日 於：事務局 審査員 10名
<二級> 学科 191名、製図 21名
<木造> 学科 1名、製図 0名

■一級建築士試験受験申込受付

- インターネット受付 4月20日～30日
学科 122名、製図 20名
5月10日～14日 於：事務局 審査員 10名
学科 153名、製図 8名

■二級建築士学科試験

- 試験日 7月4日
会場 日本文理大学
実受験者数 191名
監理員 11名、補助員 6名

■一級・木造建築士学科試験

- 試験日 7月25日
会場 日本文理大学
実受験者数 一級：237名、木造：0名
監理員 15名、補助員 5名

【その他講習会等】

■すべての建築士のための総合研修

- 日時 平成22年5月22日
平成22年6月5日
場所 大分文化会館 第1小ホール
受講者 96名(5月22日)
93名(6月5日)

広報委員

担当副会長 〈白杵〉 三重野 元 良
委員長 〈大分〉 中 園 幸 治
委員 〈大分〉 山 本 伸 二
員 〈大分〉 赤 峰 秀 樹
〈三重〉 岡 部 達 巳
〈中津〉 工 家 一 彦

編集委員

委員長 〈高田〉 後 藤 憲 二
副委員長 〈大分〉 岐 部 和 久
委員 〈白杵〉 赤 嶺 竜 一
〈宇佐〉 渡 辺 賢 一
〈国東〉 野 田 忠 廣
〈別府〉 須 藤 祐 未
〈大分〉 後 藤 佳 織
〈大分〉 後 藤 靖 之
〈大分〉 高 山 鮎 美
〈大分〉 宮 本 吉 朗
〈佐賀県〉 藤 澤 浩
〈津久見〉 大 村 正 壽
〈佐伯〉 長 田 孝 治
〈佐伯〉 疋 田 寛 子
〈三重〉 佐 藤 勤 也
〈竹田〉 志 賀 勝 吉
〈玖珠〉 白 地 泰 憲
〈日田〉 櫻 木 弘三郎
〈中津〉 長谷川 詳

建築士大分 2010.11 No. 109

(非売品)

平成22年 11月 1日 印刷

平成22年 11月 1日 発行

編集／発行所
社団法人

大 分 県 建 築 士 会
〒870-0022

大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F

T E L 097-532-6607

F A X 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社 大分市高江西1丁目4323番25号 T E L (097) 535-8655

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0605	豊後高田市御玉199	0978-24-0418
国東	873-0503	国東市国東町安国寺718	0978-72-2887
別府	874-0845	別府市大字鶴見字角田3220-3 別府建築士事務所会館	0977-67-4488
本部・大分	870-0022	大分市大手町2-2-7 田原ビル2F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市大字佐賀関3068 高島建設(株)内	097-575-0116
臼杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2445	津久見市井無田町3-9 津久見建設(株)内	0972-82-5291
佐伯	876-0813	佐伯市長島町1-3-11	0972-23-6099
三重	879-7131	豊後大野市三重町市場2区	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4412	玖珠郡玖珠町大字山田291-2 サンホーム(株)内	0973-72-0023
日田	877-0025	日田市田島1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町1-5-24 中津建築会館	0979-24-3597
宇佐	879-0453	宇佐市上田931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本部	http://www.oita-shikai.or.jp/		
高田支部	http://www2.ocn.ne.jp/~o-takada/		
国東支部	http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/		
別府支部	http://www.beppu-onsen.jp/		
大分支部	http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/		
佐賀関支部	http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/		
臼杵支部	http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/index.html		
津久見支部	http://www.bungo.or.jp/t-shikai/		
佐伯支部	http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/		
三重支部	http://www16.plala.or.jp/sok-mie/		
竹田支部	http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm		
玖珠支部	http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/		
日田支部	http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm		
中津支部	http://kentikusi-nakatu.net/		
宇佐支部	http://www.d-b.ne.jp/usasikai/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～
目標3,000人突破



社団法人 大分県建築士会